学校給食だより　　# 秋田っ子給食　　NO－573

ふきのとう　大館の食材「いっぺけ」



大館市の川口小学校の児童が30日、地元食材をふんだんに使った「大館わんだふる給食」を堪能した＝写真。

献立は、大館さくら豚と市内産のエダマメ「ゆかた娘」を使った丼がメイン。

比内地区で生産されたトンブリが入ったサラダ、市内産のサトイモやネギを使ったいものこ汁、秋田県産あきたこまちの米粉を使用したタルトも並んだ。

児童が放送で食材を紹介し、「おめがたはらいっぺけー」と呼びかけ。全校児童がランチルームで給食を味わった。

6年の斎藤瑛太さんは「丼が特においしかった。大館の食材を身近に感じることができた」と話した。

給食は市教育研究会栄養部会が2017年度から毎年実施。

今年は10月19日から市内の小中学校26校で提供された。

（佐藤千華）　　（令和8年10月 31日（土） 秋田魁新聞より一部抜粋）